

MBニュース



【中国産山菜情報】

丸松物産株式会社

5、6月の生産時期に早魃の被害を受け、また人手不足の影響で、塩蔵わらび、ヤマセリの生産量が昨年比でそれぞれ50%、20%減少した結果、今年の新物塩蔵わらびの価格は昨年より約20%に高騰している為、現在、弊社では、原料の確保に注力しています。一方、塩蔵ヤマセリについては、生産量が減少したものの、一昨年より日本側での発注量が減少していることから、その新物価格は、逆に昨年より若干安くなっている。

【中国情報】 中国で「商標権トラブル」相次ぐ ～讃岐うどんやクレヨンしんちゃんも被害～

中国での商標権をめぐるのは、日本の商標ブランドが中国で無断登録され、トラブルになるケースも急増している。経済産業省が4月にまとめた実態調査では、日本企業が保有する著名な著作物などが不正に登録された事例は平成22年に275件に上り、3年間で2倍以上に増加。日本企業の中国での事業活動に悪影響を与えている。

中国での不正な無断登録は商品にとどまらず、日本の地名や地域ブランド、マンガのキャラクターなど幅広い分野に広がっている。香川県の讃岐うどんを表す「讃岐烏冬」、佐賀県の「有田焼」、人気キャラクターの「クレヨンしんちゃん」なども被害にあった。



不正登録が増加している背景には、インターネットで外国ブランドなどの情報を簡単に入手できることがある。将来中国に進出しそうな日本のブランドを片っ端から商標出願し、商標を高値で買い取らせる狙いだ。

良品計画は平成12年に「無印良品」と「MUJI」の不正登録の取り消し裁定請求を中国に申し立てたが、商標取り消しまで7年。「クレヨンしんちゃん」は著作権の侵害が認められるまで8年を要した。

一方、芋焼酎「森伊蔵」「伊佐美」「村尾」の3銘柄が中国で無断申請されていたケースでは、中国商標局が酒造会社からの異議申し立てを認めなかった。無断商標を取り消すには膨大な時間とコストが必要だが、最終的に解決できるとはかぎらない現実がある。

(平成24年7月3日、msn産経ニュースより抜粋)

【お奨め商品情報】

	商品名	極細辛味メンマ (1kg、400g)	
	商品特徴	細く食感の良いメンマを用い、ブラックペッパーの風味と辛さを生かし、さらにごま油と唐辛子を加えて刺激的な辛さに仕上げた大人のメンマです。お酒のお供に最高です。また、和え物や炒め物にもお使いいただけます。	
	主要原材料	メンマ、ブラックペッパー、ゴマ油、唐辛子等	
	賞味期限	製造日より6ヶ月	
	使用上の注意	開封後は5℃以下で冷蔵保存し、3日以内にお召し上がり下さい。	

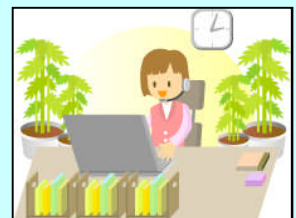
【調理例】
極細辛味メンマと野菜のピリ辛炒め

【インターネットショップ開店情報】

弊社ではインターネットショップを7月初めに開店しました。「業務用食品メーカーが育てた味を全国の食卓へ」を掲げ、日本全国の消費者様へ販売を開始し、業務用食品のお得意様同様、ニーズにあった安心・安全な商品をご提供する所存です。何卒ご愛顧、お引き立てを賜ります様お願い申し上げます。



- ☆ネットショップ名:「お惣菜通販の丸松物産」
- ☆ネットショップURL: <http://marumatsu-mb.com>
- ☆モバイルURL: <http://marumatsu-mb.com/mbp>
- ☆スマートフォンURL: <http://marumatsu-mb.com/smp/>



以上